

■主要科目の特徴 <<臨床心理学科>>

①	科目名	臨床心理学概論	
	配当学年・学期	1年生／前期	
科目の特徴	臨床心理学科での学び方の導入として、心理的問題の解決や改善を支援する実践活動と、その活動を保証するための理論と研究によって構成されている臨床心理の基礎について学ぶ。公認心理師は、病理の治療を目的とするだけではなく、心理的問題の解決や改善を援助する独自の専門職であることが期待される。心理的問題の成り立ちを踏まえるとともに、生物—心理—社会モデルに基づいた援助実践に足りうる基礎的知識と理念を概観する。		
②	科目名	心理学実験Ⅰ	
	配当学年・学期	2年生／前期	
科目の特徴	心理学では、目に見えない心を捉え、測定するために様々な実証的手法が用いられている。本講義では、実験法や質問紙法といった、主に基礎心理学で用いられることの多い研究方法・技術について、初歩的な実験などの体験を通じて習得することを目指す。さらに、実験結果を科学的形式に従ったレポートにまとめる知識・技術も学ぶ。学習者の学びをより着実なものとするために、グループワークを取り入れ、複数の教員で学習をサポートする。		
③	科目名	心理学的支援法	
	配当学年・学期	2年生／後期	
科目の特徴	本科目では、専門的相談援助行為の手法であるカウンセリング・心理療法についてその理論と技法を学ぶ。ロジャースの来談者中心療法をはじめとし、力動的心理療法、認知行動療法などの代表的な理論について、その歴史や意義、限界等を教授する。地域支援や他の支援者との協働、良好なコミュニケーションの方法、プライバシーへの配慮、心の健康教育についても理解を深める。		
④	科目名	心理実習Ⅱ	
	配当学年・学期	3年生／後期	
科目の特徴	臨床心理学科は、国家資格である公認心理師の養成カリキュラムに準じている。本実習は、医療機関を含む80時間以上の実習に含まれており、公認心理師国家試験の受験に必須である。保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働等の領域における見学・体験実習を行う。クライアントへのチームアプローチ、他職種連携や地域連携についての学びを深めることを目的とする。担当指導員、並びに実習地で仕事をしている心理職による指導を受ける。大学院修士課程での臨床実習につながる科目である。		